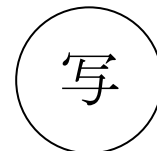


令和元年（2019年）7月24日開会

令和元年（2019年）第9回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和元年7月24日（水）第9回教育委員会定例会を南館6階会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	武 内 由 紀 子
委 員	片 山 正 敏
委 員	篠 永 安 秀
委 員	堀 村 佳 奈 子

◆ 本委員会に出席した者

教 育 総 務 部 長	乾 克 文
教 育 政 策 課 長	玉 谷 圭 太
学 務 課 長	堤 義 孝
施 設 課 長	中 井 教 純
社会教育振興課長	松 本 栄 子
歴史文化財課長	木 下 典 子
中央図書館長	吉 田 典 子
学校教育部長	加 藤 拓
学校教育推進課長	谷 周 平
教 職 員 課 参 事	牧 原 貴 代
教育センター所長	足 立 英 幸
こども育成部長	岡 和 人
保育幼稚園総務課長	山 寄 剛 一

◆ 署名委員

教育長職務代理者	武 内 由 紀 子
----------	-----------

(令和元年 7 月 2 4 日 (水) 、午後 2 時 0 0 分)

議事日程 (令和元年第 9 回茨木市教育委員会定例会)

(於 : 市役所南館 6 階会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

(14時00分 開会)

岡田教育長

ただいまから令和元年第9回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は委員会を傍聴したいとの申し出がありますので、ここで入室していただきます。

入室をお願いします。

(傍聴者入室)

岡田教育長

本日の出席者は5名でありまして、会議は成立いたしております。

なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。

これより本日の会議を開きます。

日程第1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は午後4時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。本委員会の会議時間は午後4時までと決定いたします。

日程第2 「会議録署名委員指名について」。

本件は、茨木市教育委員会会議規則第17条の規定により、武内委員をご指名申し上げますので、よろしくをお願いします。

日程第3 「会議録の承認について」を議題といたします。

「令和元年第8回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」について、お諮りいたします。

異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「令和元年第8回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」については承認することといたします。

日程第4 「諸般の報告」を行います。

乾教育総務部長が報告

岡田教育長

以上の報告について、質問はございませんか。

堀村委員

6月22日の「マンガで学ぶ～『これも学習マンガだ！』」という講座についてお聞きしたいんですが、この、マンガで学ぶという視点、すごくよくなって、いい取組だなと思って見ていたんですが、茨木市ではマンガをどのぐらい所蔵されているのかというのと、マンガを所蔵されるときに選定基準というものがあれば教えていただければと思います。

吉田中央図書館長

茨木市の図書館では、積極的ではないですが、コミックの収集も行っております。コミックだけの統計というのは出していないので、正確な数というのはちょっと出せないのですが、収集の基準としましては、学習的なマンガであることと、手塚治虫賞とか、そういう賞を取っていることです。あとは、テレビとかでアニメ化されて、広く子どもたち、大人もそうなんですけども、触れられているものというふうに、限定しております。

堀村委員

ありがとうございます。

篠永委員

その読書講座の続きで、私もお質問させていただきたいと思います。学校の講師の先生をお迎えしたということで、幾つかマンガの題名があつて、残念ながら、私はほとんど知らないですけれども、「こち亀」ぐらい知っているかなとは思うんですけど。この例として挙げられているようなマンガの、どのあたりに学習マンガと言える要素があるのかというのを、ちょっとわかる範囲で教えていただけたらなと思うんですけど、お願いいたします。

吉田中央図書館長

まず、ここで例に挙げているものは、私も最初見たときに、学習マンガかなと思うものが多くありました。というのは、学習マンガというと、歴史のマンガとか、伝記のマンガがほとんどのところがありますので、そういう意味では、えっと思うものがあるんですが、例えば、講座で配られた冊子がありまして、これがその冊子になりますが、分野に分かれています。「ガラスの仮面」でしたら、職業の分野になります。自分が女優になるならばどうだろう、というものであったり、あと、「ゴルゴ13」なども挙げられていまして、いろんな社会情勢が入っていたり人に対する対応の方法とかも入っているということで、学習マンガに挙げられています。

ただ、小説でも、それぞれの分野に触れられていることも多いと思いますので、マンガも小説と同じだということと、マンガのほう絵から入るということで、入りやすいということで学習マンガで挙げられています。

篠永委員

ありがとうございました。私の認識では、学習マンガといたら「はだしのゲン」であるとか、歴史のマンガというのは、僕ら、小さいころもあつて、その延長上なのかなと思ったら、割と新しい題材のものが挙げられていたんで、ちょっとびっくりしていたんですけども。

マンガというのは、ご説明いただいたとおり、小説や随筆などの読む要素の中から、風景描写であるとか、シーン描写を絵で切り分けて、すみ分けて記述されているのかなという認識なんですけども、どう読んでいくかというところが、やはりいわゆる本の醍醐味であるので、できるだけ本に親しむ前の導入の一助というのがいいのかなというのが私の意見、感想です。だから、学習マンガだということで、これがあまり脚

光を浴び過ぎたりして、夏休みの感想文に「こち亀」とか「ゴルゴ13」ってなると、ちょっと具合が悪いところもあるんじゃないかなと思うんで、そのあたりはバランスよく、進めていただいたらと思いますので、よろしくお願いします。

武内委員

同じ、この取組についてなんですけれどもね、参加者が44人ということで、どんな方が参加されたのでしょうか。子どもが来るということはなかったのかなとは思いますが、来られた方はどんなふうにとらえられたのでしょうか。で、今も言っておられたように、そのマンガの中でも、その訴える部分というか、このあたりをつかんでほしいとか、何かそういう部分がきっと、読む人によって、どこをどうとらえるかというので違ってくると思うので、そういうふうなことについてのお話が特別にあったのか、それとも読んで、それぞれが受け取ってくれたらいいというスタンスだったのかね、そのあたりは、どういう感じだったのでしょうか。

吉田中央図書館長

参加者の年齢構成なんですけれども、40代の方が一番多かったです。次いで50代という形になっております。来られた方は、実際に、学校図書館司書をされている方であったり、どうやってマンガというものをとらえていいのかわかりにくいであるとか、どういうふうに紹介したらいいのかわからないとか、という方がたくさん来られていました。

この子どもの本の読書講座というのは、大人向けの講座で、本の選び方であったり、おはなし会の仕方というのを主にやっているものですが、参加していただいた方のご意見としては、マンガが学習の取っかかりになることがわかったというご意見とか、多様な価値を学ぶときに導入にぴったりのマンガの意義がよく理解できたとか、あとは学習マンガ、いわゆる皆さんが思っている学習マンガだけでなく、一般のマンガからも学べるということがいろいろあったことを改めて実感したというご意見をいただいています。

この協会といいますか、団体が出されている本がありまして、そこには、この本ではこういうことを学べますというのが書かれています。ただ、委員がおっしゃったように、読み手によって、やはりとらえ方が違うと思いますので、その辺は任されている

ところもあると思います。

武内委員

普通の本でもそうですけれども、この本のこのお話の中から、何を感じ取ってほしいかみたいなことはね、やはり子どもたちにはなかなか難しいと思います。今、学校図書館司書の方が結構見えていたということを伺いましたので、そういう意味で、こんなふう子どもたちに紹介して行ってほしいし、こんなことがつかめるような持っていく方をしてほしいみたいなことも含めて、講座として勉強会を開いてもらったらいいかなというふうに思いましたので、よろしくお願いします。

片山委員

じゃあ、私は一般会計補正予算について、議会で質疑された中で、1つお聞きしたいと思います。

大阪北部地震以後、相当時間も経過して、その復旧にいろいろご努力いただいておりますけれど、長谷川議員から、ブロック塀について質問されています。この中でちょっと気になりますのが、ブロック塀改修工事の入札不調についてということで、不調になりますと工事が進みませんので、実際、これはどういうことになっているのか、少し教えていただけますでしょうか。

中井施設課長

入札不調ということで、これは市の予定価格を業者の入札価格が大きく上回っておったということで不調になったものでございますけれども、その中で、市の予定しておる単価と業者が出してきた価格の中で、土工事の方であったり、いろんな項目がございますので、大きく乖離している部分についての原因を検討いたしまして、今年度の9月のプール授業終了後にもう一度、再度入札という形で、今現在、準備を進めているところでございます。

片山委員

確かに、いろんな工事が集中しているということで、建設物価自体が非常に高くなっているのかなというふうに推察はいたしますけれども、これに悪乗りされて、金額が非

常に高くなっているということも予想されますし、そのあたり、市の税金に関わる問題ですので、厳密に精査いただいて、極力、工事期間ですね、早くできるように、何とか努力していただきたいというふうに、お願いいたします。

武内委員

6月15日のふれあいコンサート、生涯学習センターで開催されているんですけども、これは定期的にされているものなんでしょうか。どんな感じなのかちょっと教えてください。

松本社会教育振興課長

ふれあいコンサートについてです。これは毎年一回、6月に、子どもたちに生の演奏、音楽を聞いてもらう機会として、子どもたちの豊かな心の育成というところを目的に実施をしています。内容といたしましては、茨木市吹奏楽団の方に、子どもたちが楽しめる演奏をしていただきまして、また今年度は打楽器の演奏に、直接、会場に来ている子どもたちにも参加してもらうような体験コーナーなんかも組んでいただいて、親子でも楽しめるような形で実施をしているものです。

武内委員

それはあそこの、きらめきのホールの中ですか。それで224人って、ちょっと余裕があり過ぎるような気がするんですけど。どんなふうに募集されたんですか。

松本社会教育振興課長

そうです、きらめきのホールですので、参加人数としては、席にはまだ余裕があるかなとは思いますが、毎年、220人前後ぐらいの参加者です。この時期、土曜参観を行っている学校とかもありますので、時期等についてはまた検討の余地はあるのかなということもあるんですけども、社会教育振興課のほうで実施しているいろんな事業を見ますと、どうしてもこの時期になってしまうということで、毎年やっています。募集は、小学校の全児童に届く青少年センターだよりでありましたり、ホームページ、また広報誌等で周知させていただいています。

武内委員

先ほど趣旨をお聞きして、とってもいい取組だなと思うので、ぜひともね、できるだけたくさん子どもたちが参加できて、音楽の楽しさというのかな、それとか楽器を扱うことに触れていくという、そんなことが広まっていったらいいなというふうに思いますので、ぜひ、どんどん進めていってほしいなと思います。

岡田教育長

はい、ほかに何かございませんか。

武内委員

もう1つ、社会教育振興課の、この民謡踊り講習会というのでね、参加者が29人というのは多かったのか少なかったのか、どんな方が参加されて、どういう感じで進められているのか、ちょっと概要を教えてください。

松本社会教育振興課長

民謡踊り講習会についてです、参加者は29人ということです。これに関しましては、昨年が37人、その一年前が49人ということで、年々、人数が減少してきています。

目的としましては、夏の風物詩である民謡踊りを、地域等の交流やイベントで活用していただいて、また地域活動への積極的な参加と世代間交流というような地域づくりに貢献できるような形で、毎年実施をしているものです。

参加されている方は、やはり主に50代以上の方になっております。ですので、若い方にも参加していただけるように、日も、今年は日曜日の午後からに設定しまして、踊りのテーマも若い方たちにも受け入れてもらえるような、そういった演目等を講師の方と調整させていただいてはいるんですけども、なかなか参加者が伸びないというようなことと、リピーターの方が多いというような現状にあります。また、各地域の公民館なんかでも民謡踊り講習会をされていますので、そういったところの事業とまた精査をしながら、今後についてはどういう形でやっていくのがいいかということとは検討していきたいというふうには考えております。

武内委員

はい、ありがとうございます。

岡田教育長

はい、ほかにございませんか。

武内委員

すみません、もう1つ、7月6日に川口俊和さんの講演会を実施されたという報告がありますが、私もこの「コーヒーが冷めないうちに」という題名しか記憶にないんですけれども、これ、いろんなところで公演されているということで、神戸、大阪で公演されているというふうなことが書いてあるんですが、近いうち、茨木でもというふうなお話はあるんでしょうか。

吉田中央図書館長

この川口さんの講演につきましては、そのときに来られた方にアンケートをとりまして、ぜひとも茨木でも公演してほしいという意見があったのですが、都市の規模が結構大きいところでないと人が集まらないということで、次回も東京でされるようです。ただ、何人かそういう意見があったのは、川口さんにお伝えいたしましたので、ぜひしていただければと思っています。

武内委員

せっかくですからね。わかりました。

岡田教育長

それでは、以上をもちまして、諸般の報告を終わります。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

令和元年第9回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(14時25分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和元年7月24日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

令和元年第9回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和元年6月15日～令和元年7月12日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
6月15日 (土)	ふれあいコンサート (参加者：224人)	生涯学習センター	関係職員	社会教育 振興課
6月22日 (土)	民謡踊り講習会 (参加者：29人)	上中条青少年セン ター	関係職員	社会教育 振興課
6月22日 (土)	子どもの本の読書講座 (第1回) 「マンガで学ぶ～『これも学習マンガだ!』」 (参加者：44人)	中央図書館	関係職員	中央図書 館
6月16日 (日) 6月23日 (日)	ジュニアリーダー研修会 (参加者：121人)	上中条青少年セン ター	関係職員	社会教育 振興課
6月29日 (土)	キャンプカウンセラー激励のつどい (参加者：80人)	青少年野外活動セン ター	教育長 教育委員 関係職員	社会教育 振興課
6月15日 (土) ～ 7月6日 (土)	映画会 (開催回数：3回 参加者：延べ193人)	中央図書館	関係職員	中央図書 館
7月6日 (土)	作家・川口俊和氏講演会 ～ 茨木市での思い出と夢と ～ (参加者：142人)	ローズWAM ワムホール	関係職員	中央図書 館
6月15日 (土) ～ 7月11日 (木)	おはなし会 (開催回数：33回 参加者：延べ2,214人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館
7月11日 (木)	子どもの本の読書講座 (第2回) 「読み聞かせ、おはなし会入門」 (参加者：41人)	水尾図書館	関係職員	中央図書 館